

デフリンピック閉幕

日本選手、メダル 27 個

7月18日から開かれていたろう者の国際スポーツ大会「デフリンピック」(開催地＝トルコ・サムスン県)が7月30日、閉幕した。日本選手団は11競技に出場し、金メダル6個、銀メダル9個、銅メダル12個の計27個を獲得。目標の25個を超え、史上最多となった。

金メダルを獲得したのは団体競技では女子バレーボール、陸上の男子400メートルリレーの2個。個人では水泳の藤原慧選手(日本大学、21)が400メー

トル自由形などで3個、陸上の山田真樹選手(東京経済大学、19)が男子200メートルで1個獲得した。

デフリンピックは1924年にフランスで第1回夏季大会が開かれた。4年に1度開催されている。

大会の詳細は全日本ろうあ連盟スポーツ委員会のホームページ(<https://www.jfd.or.jp/deaflympics/index.php>)で紹介されている。

(福祉新聞・第2822号 2017年8月7日)